

アルコニックス株式会社  
2025年3月期 第2四半期  
決算説明資料

2024年11月13日



## INDEX

1. 2025年3月期 2Q 決算概要
2. 2025年3月期 通期業績見通し
3. トピックス

会社概要 / Appendix

## INDEX

1. 2025年3月期 2Q 決算概要
2. 2025年3月期 通期業績見通し
3. トピックス

会社概要 / Appendix

## 2025年3月期 第2四半期 エグゼクティブ・サマリー



経営環境	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ 自動車関連は苦戦、半導体関連は堅調</li><li>▶ アルミ・銅市況が前年同期比で回復傾向</li><li>▶ 製造原価上昇分の価格転嫁進展により利益率が改善</li></ul>
第2四半期 決算	売上高 : 95,651百万円 (前年同期比+14.2%) 営業利益 : 3,451百万円 (同+14.8%) 営業利益率 : 3.6% (同+0.0pt) 経常利益 : 4,030百万円 (同+32.9%) 経常利益率 : 4.2% (同+0.6pt) 四半期純利益 : 2,661百万円 (同+38.9%)
2025年3月期 業績見通し	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ 期初業績見通しを据え置き</li></ul> 売上高 : 185,000百万円 (2024年3月期比+5.8%) 営業利益 : 7,200百万円 (同+31.8%) 経常利益 : 7,200百万円 (同+32.2%) 当期純利益 : 4,500百万円 (同+181.6%)
配当政策 株主還元策	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ 前期より中間5円、期末4円の計9円増配を予定 (前期55円 / 期初予想58円)</li></ul> 中間配当32円 + 期末配当32円(予想) = 年間64円(予想)

## 業績概要 2025年3月期 第2四半期



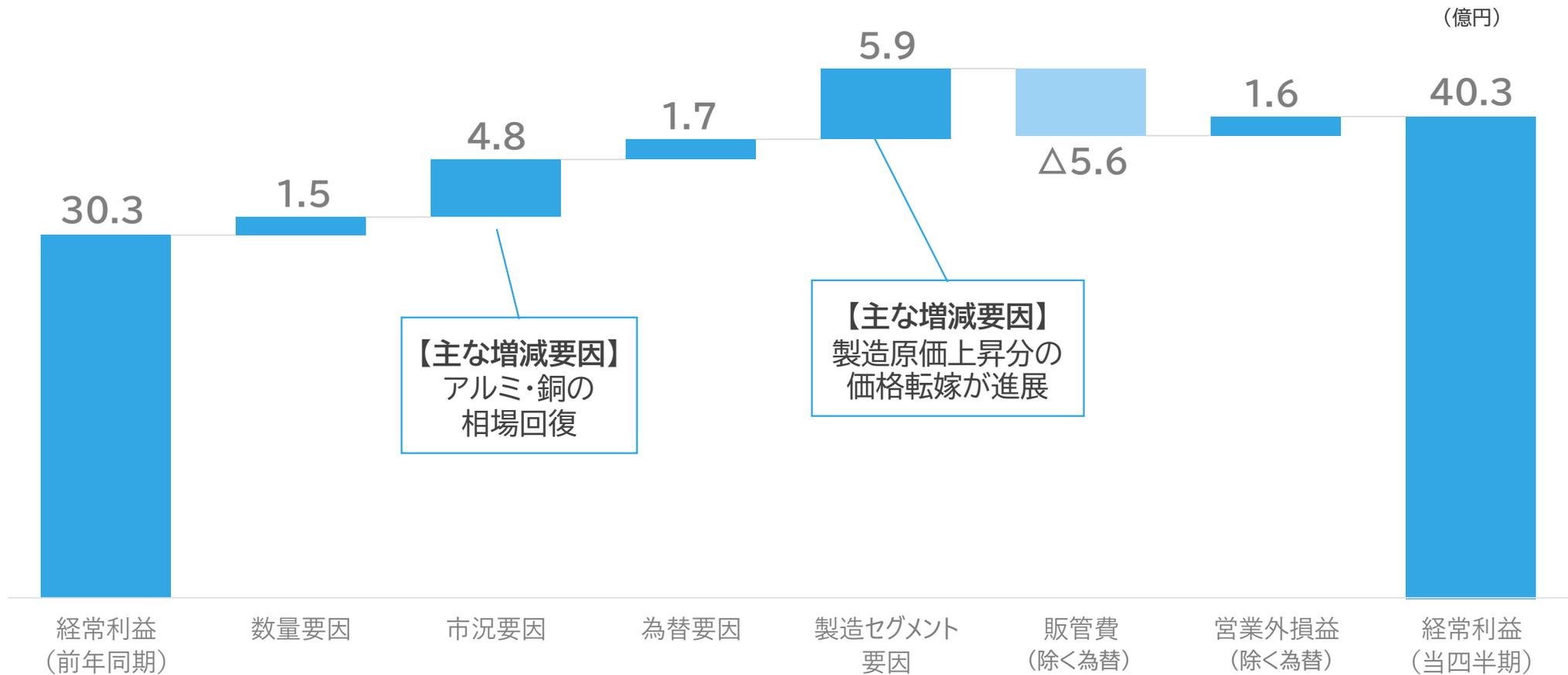
(百万円)	2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q	対売上高比率 (%)	増減率 (%)	2025年3月期計画値(通期)	
					通期見通し	進捗率
売上高	83,757	95,651	-	+14.2%	185,000	51.7%
売上総利益	11,408	12,589	13.2%	+10.4%	25,800	48.8%
販売費及び一般管理費	8,402	9,138	9.6%	+8.8%	18,600	49.1%
営業利益	3,005	3,451	3.6%	+14.8%	7,200	47.9%
経常利益	3,033	4,030	4.2%	+32.9%	7,200	56.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,916	2,661	2.8%	+38.9%	4,500	59.1%
1株当たり 四半期純利益(円)	63.62	88.21	-	-	148.85	-
EBITDA(参考)	5,324	5,780	6.0%	+8.6%	11,700	49.4%

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれんの償却額

# 経常利益の増減分析 前年同期比



※1 小数点第1位以下は切捨表記  
※2 端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある



## セグメント別業績 2025年3月期 第2四半期



※1 増減・端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある ※2 売上高は外部顧客に対する売上高を指す

(百万円)		2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q	構成比	増減額	増減率	
商社流通	電子機能材	売上高	14,741	14,875	15.6%	+134	+0.9%
		セグメント利益	1,175	1,455	36.1%	+279	+23.8%
	アルミ銅	売上高	33,394	40,932	42.8%	+7,538	+22.6%
		セグメント利益	151	670	16.6%	+519	+342.1%
	計	売上高	48,135	55,808	58.3%	+7,672	+15.9%
		セグメント利益	1,327	2,126	52.8%	+798	+60.2%
		利益率	2.8%	3.8%	-	+1.1pt	-

	売上高	セグメント利益
電子機能材	主に一部レアメタル、レアメタルスクラップ取引が堅調に推移し売上高は微増	主に一部レアメタル取引の収益率が改善し増益
アルミ銅	主に自動車向けアルミ鍛造品、銅スクラップの取扱数量が増加したこと、市況上昇も加わり売上高は増加。	主に銅やチタンの市況回復に伴い増益

# セグメント別業績 2025年3月期 第2四半期



※1 増減・端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある ※2 売上高は外部顧客に対する売上高を指す

(百万円)		2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q	構成比	増減額	増減率	
製造	装置材料	売上高	20,021	22,677	23.7%	+2,656	+13.3%
		セグメント利益	260	488	12.1%	+227	+87.5%
	金属加工	売上高	15,600	17,166	17.9%	+1,565	+10.0%
		セグメント利益	1,442	1,419	35.2%	△ 23	△ 1.6%
	計	売上高	35,621	39,843	41.7%	+4,221	+11.9%
		セグメント利益	1,702	1,907	47.3%	+204	+12.0%
利益率		4.8%	4.8%	-	+0.0pt	-	

	売上高	セグメント利益
装置材料	半導体用めっき材料やマーキング装置、検査用消耗品の販売が堅調に推移、円安効果も加わり売上高は増加	製造原価上昇分の価格転嫁が進み増益
金属加工	半導体製造装置・半導体実装装置向け部品が伸長し、売上高は増加	半導体製造装置部品は堅調であるものの、半導体実装装置部品の利益率が低下し横ばい

# グループ会社別取扱品目一覧

※売上総利益ベース(前年同期比)  
QonQ 増加:○ 減少:×



	取扱い グループ会社	自動車 (部品・材料)	半導体	電子材料 電子部品	その他
電子機能材	<ul style="list-style-type: none"> <li>アドバンストマテリアルジャパン</li> <li>ANDEX</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>EV/FCV部品材料</li> <li>車載電池用材料 ○</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>半導体各種材料</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>携帯機器端末部品材料</li> <li>IT機器部品材料</li> <li>各種電池材料</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特殊鋼素材(レアメタル) ○</li> <li>※ニッケル、モリブデン等</li> </ul>
アルミ銅	<ul style="list-style-type: none"> <li>林金属</li> <li>アルコニックス・三高</li> <li>アルミ銅センター</li> <li>平和金属</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電装部品 ○</li> <li>自動車構成部材 ○</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リードフレーム用銅条○</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コネクタ部品</li> <li>プリント基板部品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築資材</li> <li>電気設備部品(ブスバー)</li> <li>アルミ缶材</li> <li>熱交換器用素材(チタン他)</li> <li>医療向けチタン展伸材</li> <li>空調機器向け材料(アルミ圧延品・伸銅品)</li> </ul>
装置材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>Univertical</li> <li>東海溶業</li> <li>マークテック</li> <li>東北化工</li> <li>富士カーボン製造所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車構成部材用めっき材料</li> <li>金型用溶接材料</li> <li>ブレーキパッド用カシュー樹脂</li> <li>自動車生産ライン向け非破壊検査装置/化成品</li> <li>電装部品用モーター部品 ○</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>半導体用めっき材料</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電波吸収体</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>非破壊検査装置/検査用化成品</li> <li>マーキング装置</li> <li>電気設備部品(ブスバー)</li> <li>電動工具/家電等向けモーター部品 ○</li> </ul>
金属加工	<ul style="list-style-type: none"> <li>大川電機製作所</li> <li>大羽精研</li> <li>富士プレス</li> <li>FUJI ALCONIX Mexico</li> <li>富士根産業</li> <li>ジュピター工業</li> <li>ソーデナガノ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パワートレイン向け部品 ×</li> <li>EV車載電池向け部品 ○</li> <li>自動車試作部品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>製造装置向け部品</li> <li>実装装置向け部品 ×</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コネクタ端子部品 ○</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>航空機用部品</li> <li>空調機器向け部品</li> </ul>

## 連結貸借対照表 2025年3月期 第2四半期

- ▶ 流動資産： アルミ銅セグメントの増収に伴い売上債権が増加
- ▶ 固定資産： 投資有価証券は縮減。坂本電機製作所M&Aにより有形固定資産が増加
- ▶ 純資産： 円安に伴う為替換算調整勘定の増加によりその他包括利益が増加

資産の部 (百万円)	2024年3月期	2025年3月期 2Q	増減額	負債・純資産の部 (百万円)	2024年3月期	2025年3月期 2Q	増減額	自己資本比率
流動資産	132,549	143,867	+11,317	負債	116,540	125,396	+8,856	35.8%
現金及び預金	21,471	23,332	+1,860	流動負債	89,693	99,112	+9,418	(前期末)
売上債権	56,994	63,375	+6,381	仕入債務	44,768	47,207	+2,439	35.9%
棚卸資産	49,223	52,730	+3,506	短期借入金等	36,872	42,460	+5,587	ネットD/Eレシオ
固定資産	50,340	52,506	+2,165	固定負債	26,846	26,284	△ 562	0.5
有形固定資産	31,737	35,032	+3,295	長期借入金等	18,327	17,719	△ 607	(前期末)
無形固定資産	3,088	3,381	+293	純資産	66,350	70,978	+4,627	0.5
投資その他資産	15,515	14,092	△ 1,422	株主資本	54,304	56,258	+1,954	
総資産	182,890	196,374	+13,483	その他包括利益合計	11,398	14,042	+2,644	
				負債及び純資産 合計	182,890	196,374	+13,483	

有利子負債 = 短期借入金 + CP + 1年以内支払長期借入金 + 1年以内支払社債 + 社債 + 長期借入金  
 ※増減・端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある

## 連結キャッシュ・フロー 2025年第2四半期



- ▶ 営業CF：運転資金の増加に伴い大幅に減少
- ▶ 投資CF：坂本電機製作所をM&Aでグループ化し投資額が増加したことにより減少
- ▶ フリーCF：営業CF、投資CFともに減少し大幅に減少
- ▶ 財務CF：運転資金増加に対応するため短期借入金が増加

(百万円)	2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q	増減額
現金及び現金同等物の期首残高	25,814	19,721	△ 6,093
<b>営業C/F</b>	8,410	558	△ 7,851
運転資本の変動等	4,378	△ 5,336	△ 9,714
<b>投資C/F</b>	△ 1,621	△ 2,892	△ 1,271
有形・無形固定資産取得等	△ 1,868	△ 3,082	△ 1,213
<b>フリーC/F</b>	6,789	△ 2,333	△ 9,123
<b>財務C/F</b>	△ 4,520	3,565	+8,086
換算差額	576	867	+290
現金及び現金同等物の増減額	2,845	2,099	△ 746
現金及び現金同等物の期末残高	28,660	21,820	△ 6,839

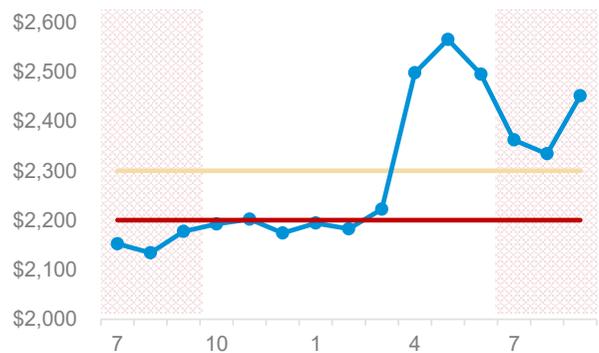
# 非鉄金属市況・為替の動向



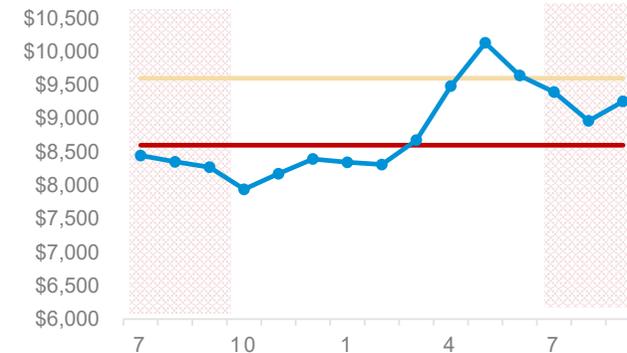
— 2024年3月期予算想定レート — 2025年3月期予算想定レート

	2024年3月期 通期		2025年3月期	
	実績平均値	期初想定 レート (A)	2Q実績 平均値 (B)	差異 (B)-(A)
アルミニウム (US\$/MT)	2,202	2,200	2,383	183
銅 (US\$/MT)	8,362	8,600	9,204	604
ニッケル (US\$/MT)	19,138	16,500	16,255	△245
為替 (US\$/円)	144.62	145.00	149.38	4.38

アルミニウム市況 (US\$/MT)



銅市況 (US\$/MT)



ニッケル市況 (US\$/MT)



為替 (US\$/円)



## INDEX

1. 2025年3月期 2Q 決算概要
2. 2025年3月期 通期業績見通し
3. トピックス

会社概要 / Appendix

## 2025年3月期 通期業績見通し



(百万円)	2024年3月期 実績 (A)	2025年3月期 通期見通し(B)	2025年3月期 2Q	増減額 (B)-(A)	増減率 (%)
売上高	174,901	185,000	95,651	+10,098	5.8%
売上総利益	22,921	25,800	12,589	+2,878	12.6%
販管費及び一般管理費	17,457	18,600	9,138	+1,142	6.5%
営業利益	5,463	7,200	3,451	+1,736	31.8%
経常利益	5,447	7,200	4,030	+1,752	32.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,598	4,500	2,661	+2,901	181.6%
1株当たり当期純利益(円)	53.05	148.85	88.21	-	-
EBITDA (参考)	10,253	11,700	5,780	+1,446	14.1%
1株当たり配当金(円)	55	64			

【参考】2025年3月期想定レート

Al	US\$ 2,200/MT	Cu	US\$ 8,600/MT	Ni	US\$ 16,500/MT	為替	145円/US \$
----	---------------	----	---------------	----	----------------	----	------------

## 2025年3月期 通期業績見通し セグメント別



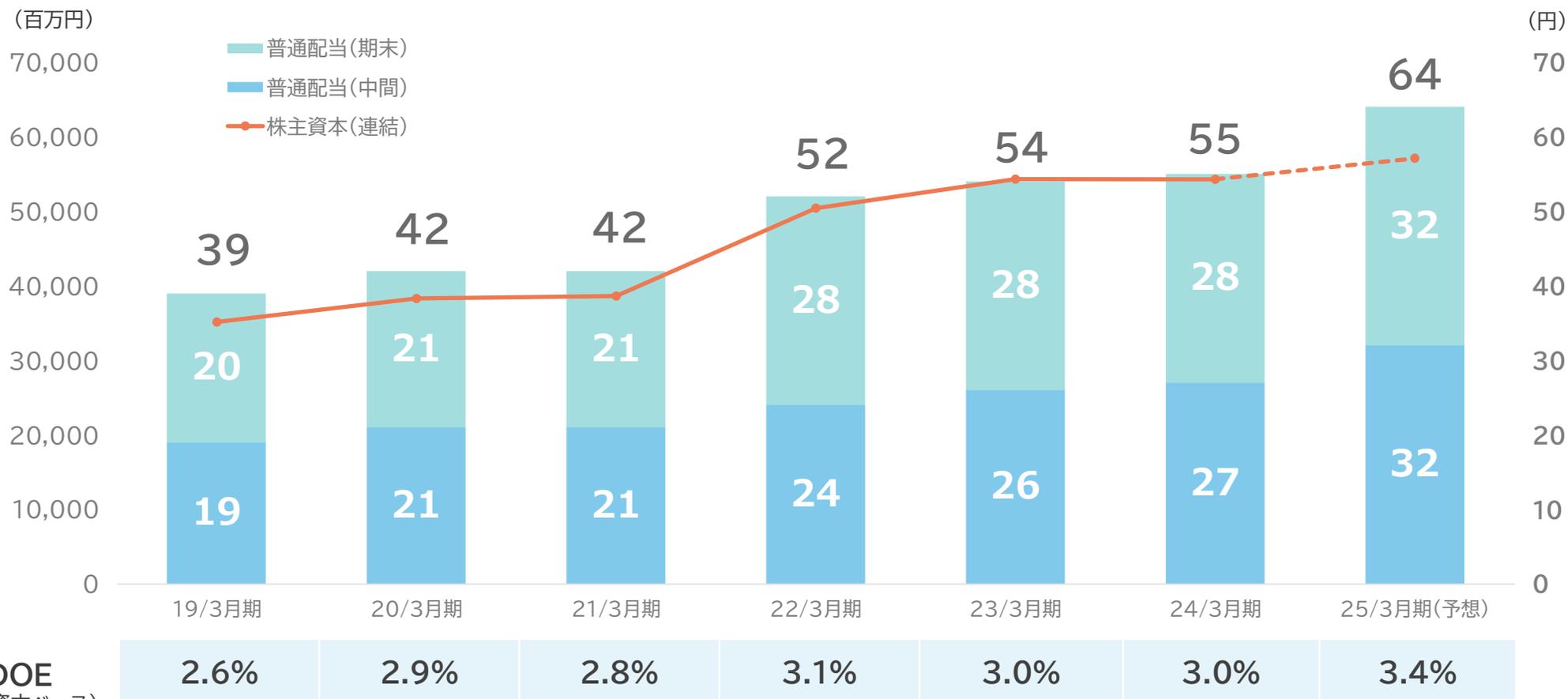
(百万円)		2024年3月期 実績	2025年3月期 2Q	2025年3月期計画値(通期)			
				通期見通し	構成比	進捗率	
商社流通	電子機能材	売上高	30,144	14,875	35,000	18.9%	42.5%
		セグメント利益	1,740	1,455	2,200	30.6%	66.2%
	アルミ銅	売上高	70,561	40,932	70,000	37.8%	58.5%
		セグメント利益	300	670	400	5.6%	167.7%
	計	売上高	100,705	55,808	105,000	56.8%	53.2%
		セグメント利益	2,040	2,126	2,600	36.1%	81.8%
		利益率	2.0%	3.8%	2.5%	-	-
製造	装置材料	売上高	42,672	22,677	45,000	24.3%	50.4%
		セグメント利益	955	488	1,300	18.1%	37.6%
	金属加工	売上高	31,523	17,166	35,000	18.9%	49.0%
		セグメント利益	2,465	1,419	3,300	45.8%	43.0%
	計	売上高	74,196	39,843	80,000	43.2%	49.8%
		セグメント利益	3,421	1,907	4,600	63.9%	41.5%
		利益率	4.6%	4.8%	5.8%	-	-
合計	売上高	174,901	95,651	185,000	-	51.7%	
	経常利益	5,447	4,030	7,200	-	56.0%	
	利益率	3.1%	4.2%	3.9%	-	-	

※1 増減・端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある ※2 売上高は外部顧客に対する売上高を指す

## 株主還元策



2024年3月期より中間5円、期末4円の計9円増配を予定(期初予想58円)



DOE:株主資本配当率(1株当たりの年間配当額÷1株当たりの株主資本×100)  
 (「株主資本」の定義:資本金+資本剰余金+利益剰余金)

## INDEX

1. 2025年3月期 2Q 決算概要
2. 2025年3月期 通期業績見通し
3. トピックス

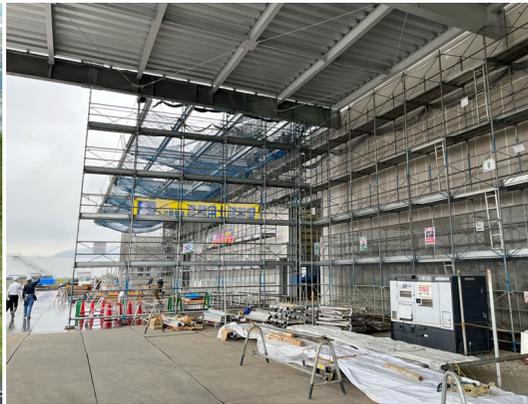
会社概要 / Appendix

# Topics1: 成長投資分[サーキュラーエコノミー] -アルミ銅センター北九州再生資源ヤードの建設状況-



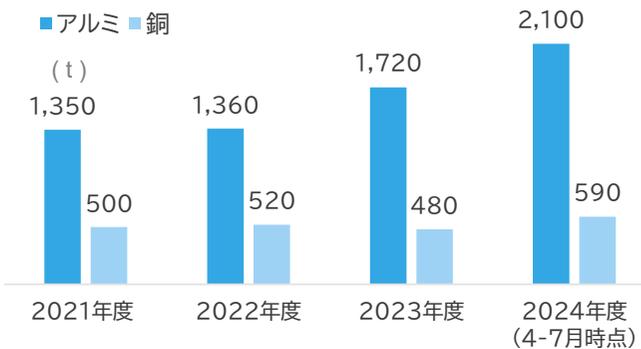
- 当社マテリアリティ[ E ]: 脱炭素・資源循環関連のアルコニックス環境親和型ビジネス推進プロジェクト
- 非鉄金属スクラップ収集量トップを目指し、北九州市内に再生資源ヤードを新設移転
- 大阪の再生資源ヤードを合わせると国内業界最大級の広大な敷地面積と国内有数の収集力を誇る
- 北九州ヤードは1月に開業予定。取扱品目の幅を広げ、集荷容量を増強する

※アルコニックスが投資し、グループ会社のアルミ銅センターがオペレーションを行う



・ 北九州ヤード敷地面積 9,748m<sup>2</sup>  
 ※建屋に太陽光パネルを設置予定

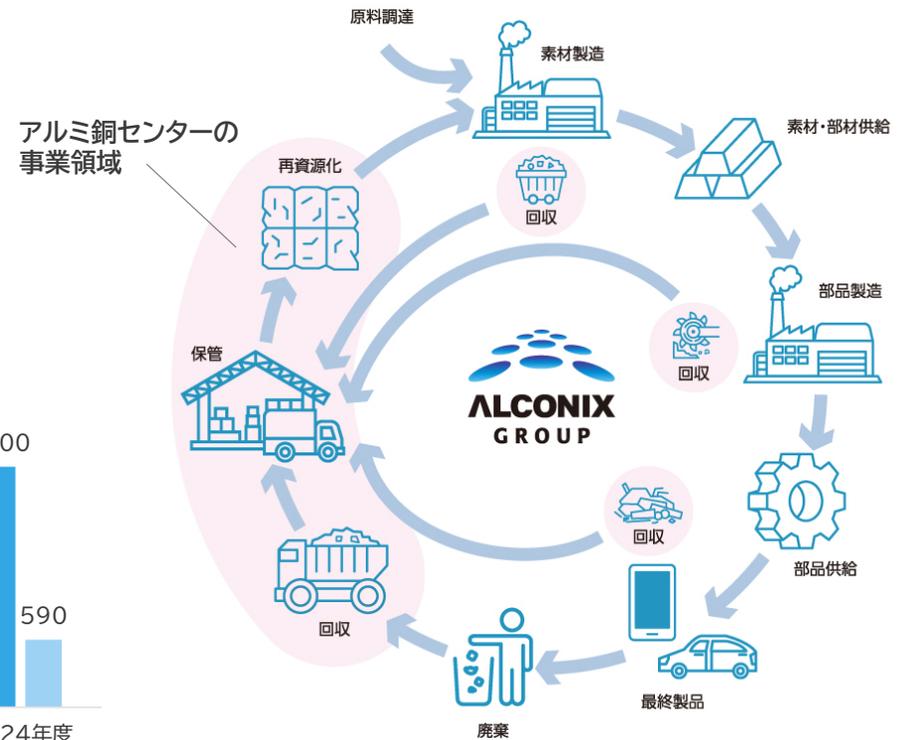
アルミと銅の集荷量推移(月平均)



## 将来的には

アルコニックスグループ内で発生した再生資源を回収し、再利用するループ構築も目指す

## 循環型社会・循環経済のビジネスモデル



## Topics2: サステナビリティ推進の進捗状況

### ■ 現状スコアとKPI・目標

～24年3月期

27年3月期KPI/目標

H

【女性管理職比率】

6.4%

10.0%

【教育研修費/人】

7.9万円

18.0万円

【教育研修時間/人】

15.5h

17.5h

(いずれも単体ベース)

E

S

G

### 当社グループへの外部評価の推移

【FTSE ESG総合スコア】\*( )内は業界平均値からの上下

0.6(-) → 0.8(-) → 1.1(-) ▶ 1.6(-)  
(20/3期) (21/3期) (22/3期) (24/3年期)

【EcoVadis 総合得点】

31 ▶ 39  
(23/3期) (24/3期)

【CDP スコア実績】

D ▶ C  
(23/3期 初解答) (24/3期)

### 当社のありたい姿

業界平均以上

要求水準以上

B

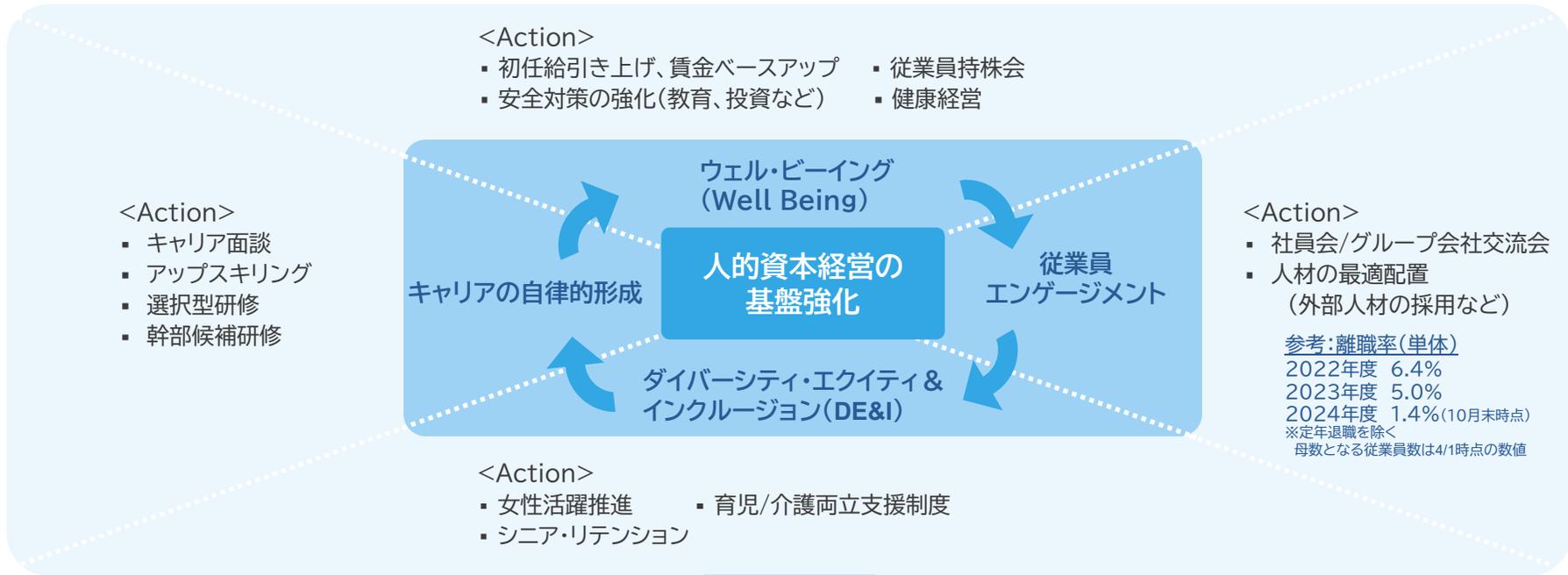


アルコニックスグループの3つの「K」

教育

給与

機会



貴重な人財の確保・定着、付加価値を生み出せる人財パフォーマンスの最大化

「夢を描き、形にする」=新たな可能性に気づき、具現化する

## INDEX

1. 2025年3月期 2Q 決算概要
2. 2025年3月期 通期業績見通し
3. トピックス

会社概要 / Appendix

## 会社概要



- 会社名 アルコニックス株式会社
- 本社 東京都千代田区永田町二丁目11番1号 山王パークタワー12階
- 設立 1981年7月1日
- 資本金 5,831百万円
- 従業員数 3,227名(連結 2024年3月末現在)
- 上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場 (証券コード: 3036)
- 事業内容 アルミ、銅、ニッケル、レアメタル・レアアース等の製品並びに原材料等の輸出、輸入及び国内販売および金属加工を中心とした製造業

## アルコニックスのプロファイル



1981

総合商社グループの非鉄金属専門商社として創業

2001

総合商社からのMBO・独立した専門商社として出発

2009

製造業のM&Aを開始

こんなところに  
「アル」コニックス

注力分野  
半導体

注力分野  
自動車

航空宇宙

建築

プラント・  
化学

注力分野  
電子材料・  
電子部品

空調

環境・  
リサイクル

戦略的成長投資分野



モビリティ

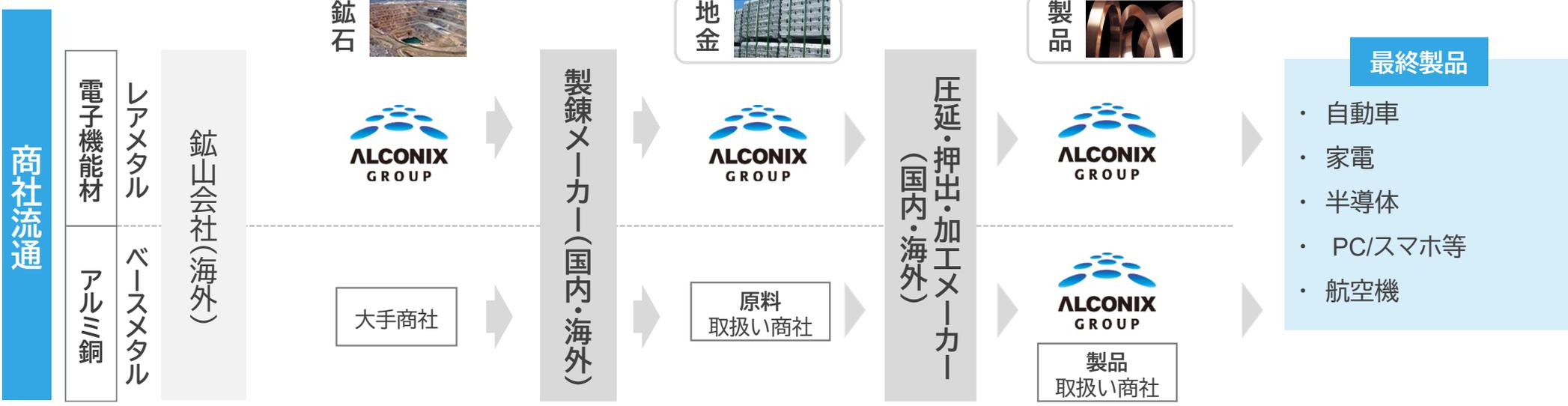


半導体関連



サーキュラーエコノミー

# 非鉄金属業界における当社の位置づけ



## アルコニックグループの事業形態

商社流通

### 電子機能材事業

スマートフォン、車載用電池向け材料や  
レアメタル・レアアースの鉱石・地金・製品を取扱う

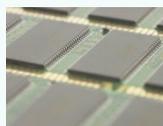
主要な事業領域



IT機器



二次電池  
(蓄電池)



半導体・電子部品

商社流通

### アルミ銅事業

アルミ圧延品/加工品、伸銅品、金属珪素、鉛地金、  
アルミ/銅スクラップの取扱いとリサイクル事業を行う

主要な事業領域



自動車



半導体・電子部品



家電製品

製造

### 装置材料事業

自動車・鉄鋼関連向けに  
製造業向け材料および検査装置を製造する

主要な事業領域



自動車



鉄鋼



半導体・電子部品

製造

### 金属加工事業

半導体・自動車・空調向けに、  
各種精密金属加工部品を加工・製造する

主要な事業領域



半導体製造装置  
(実装装置含む)



自動車



業務用エアコン

## M&Aの考え方 - 方針 -

- 事業承継型M&Aでモノづくり企業の再編統合や事業を再構築することで技術を承継し継続的な成長を後押しする
- 補完型M&Aで一気通貫のバリューチェーンを構築する
- 精密金属加工という共通性と地理的な分散を有効活用し「モビリティ」「半導体」という戦略的成長投資分野においてグループとしての受注機会を最大化する

### アルコニックス流 M&Aの7つの方針

1. 飛び地にはいかない=自社グループ事業と関連あるモノづくりの技術(Technology)をもつ企業を選択する
2. 陳腐化しないニッチ(Niche)な分野で強みをもつ企業を選択する
3. 事業再生案件には介入しない
4. 対象企業の個としての成長(Growth)を重視し、成長過程のなかでグループシナジーを見つけ出す
5. 加工する機械や設備などを調査し、次なる成長(Growth)への糧を見出す
6. オーナーの人柄、経営に対する姿勢を十分に理解する
7. 基本的には株式を100%買い取る

#### 事業承継型 M&A

グループ間の技術者交流や協業の促進  
経営資源の最適化・投資余力の確保

高付加価値製品の技術承継で持続的に稼げる企業へ  
設備や人材へ投資することにより成長能力を底上げ

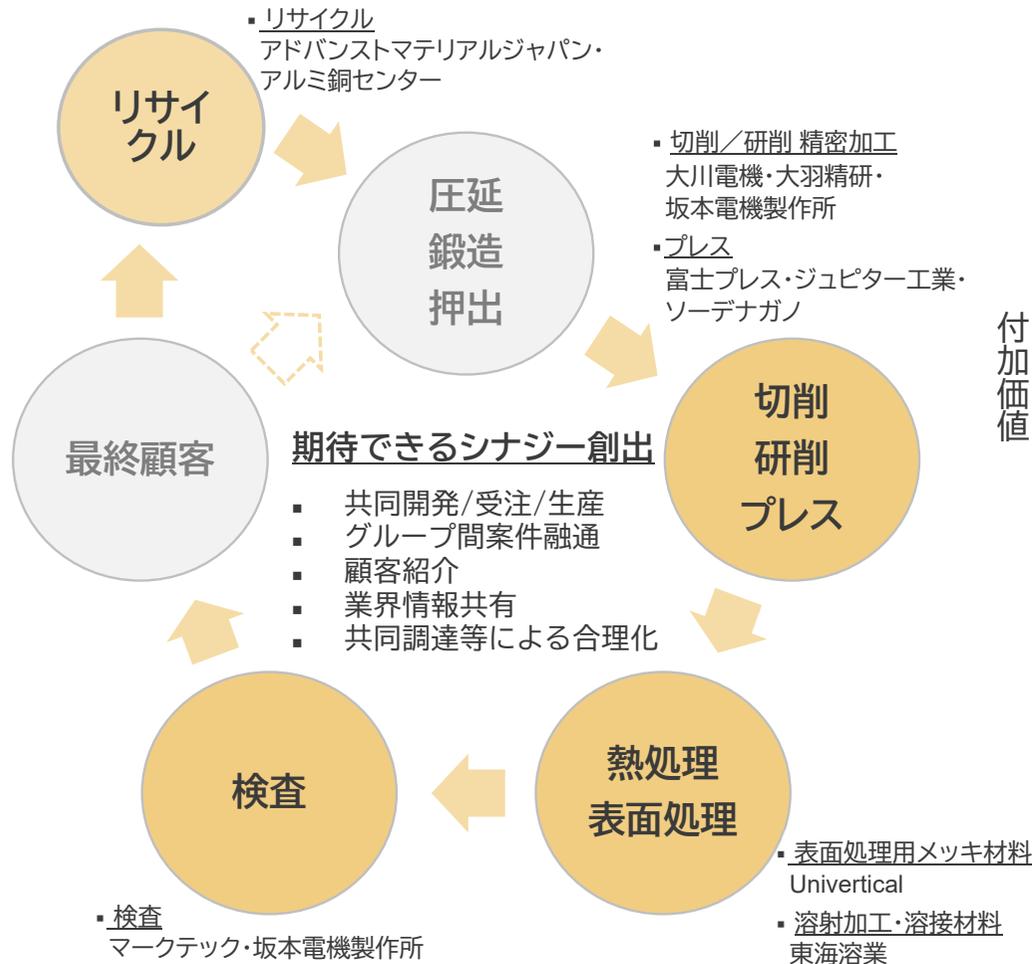
日本のモノづくりへの貢献

# M&Aの考え方 - 補完型M&A① -

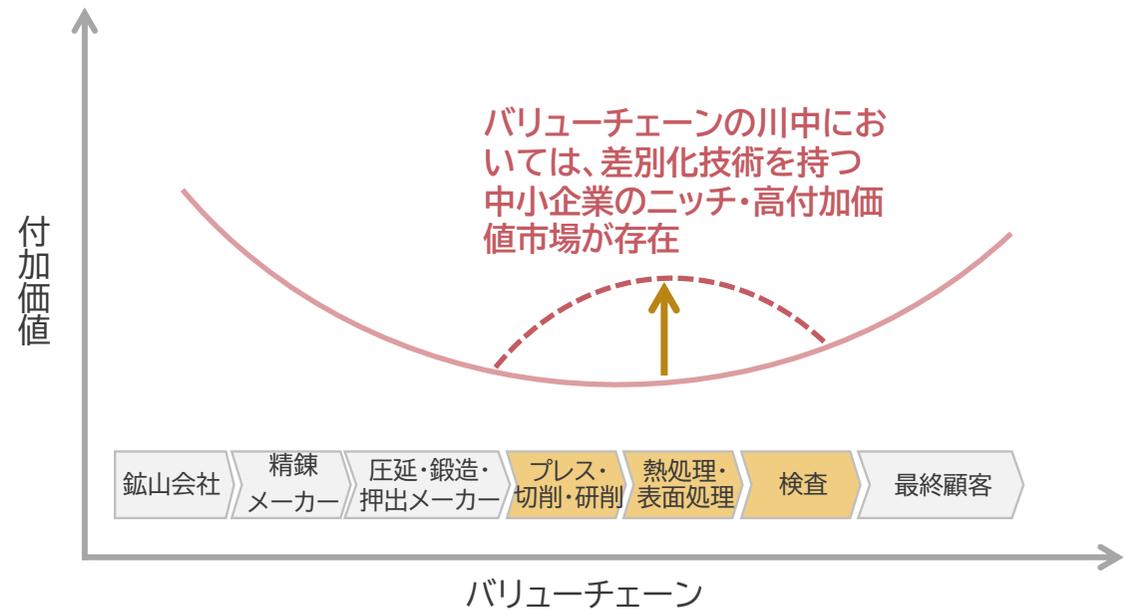


## 補完型 M&A

### ① 金属加工バリューチェーンを補完(垂直型)



### 金属加工バリューチェーンにおける付加価値

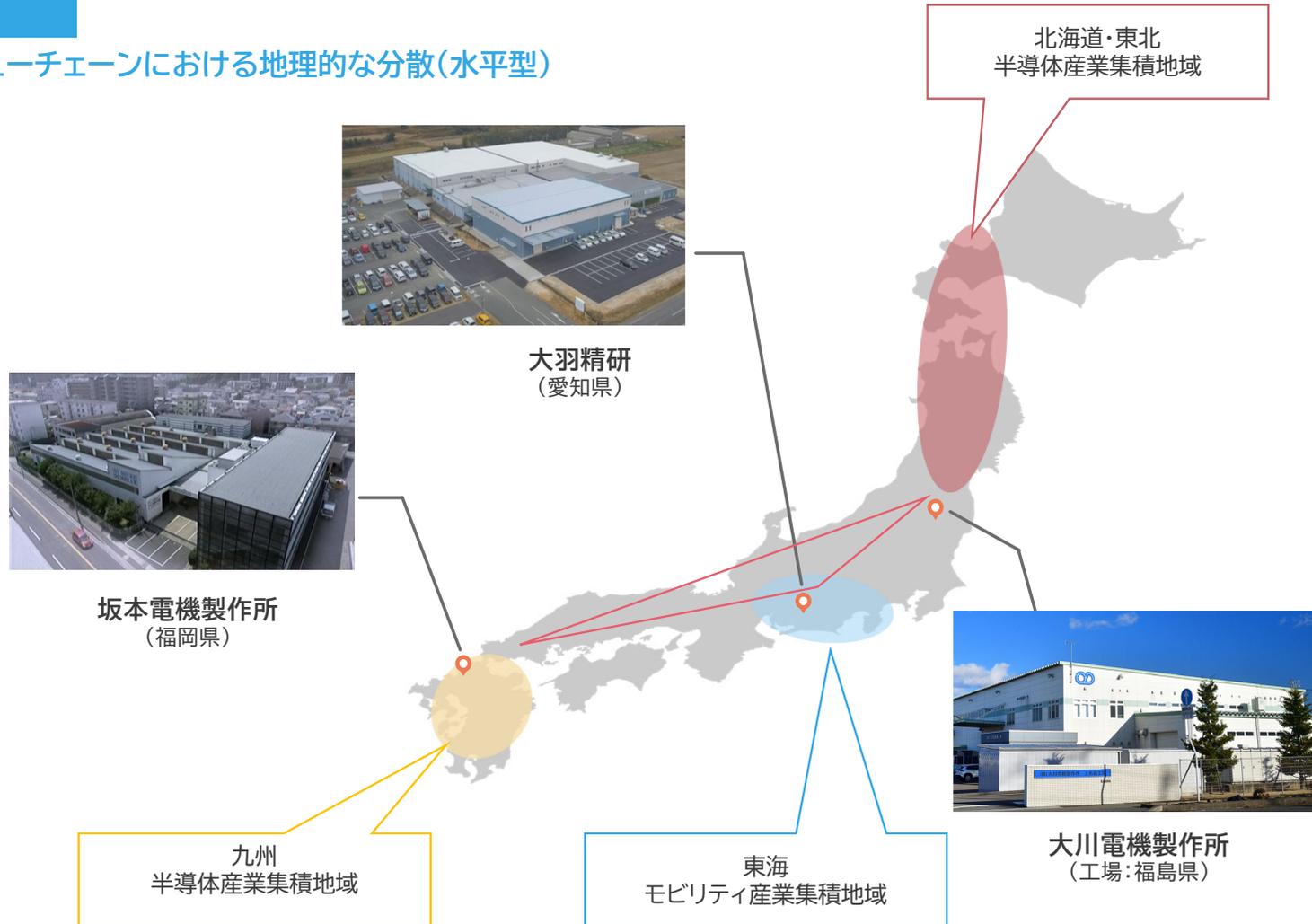


アルコニクスグループ内でバリューチェーンを構築し、複数ステップを自社に取り込み、利益の取りこぼしを極小化する

# M&Aの考え方 - 補完型M&A② -

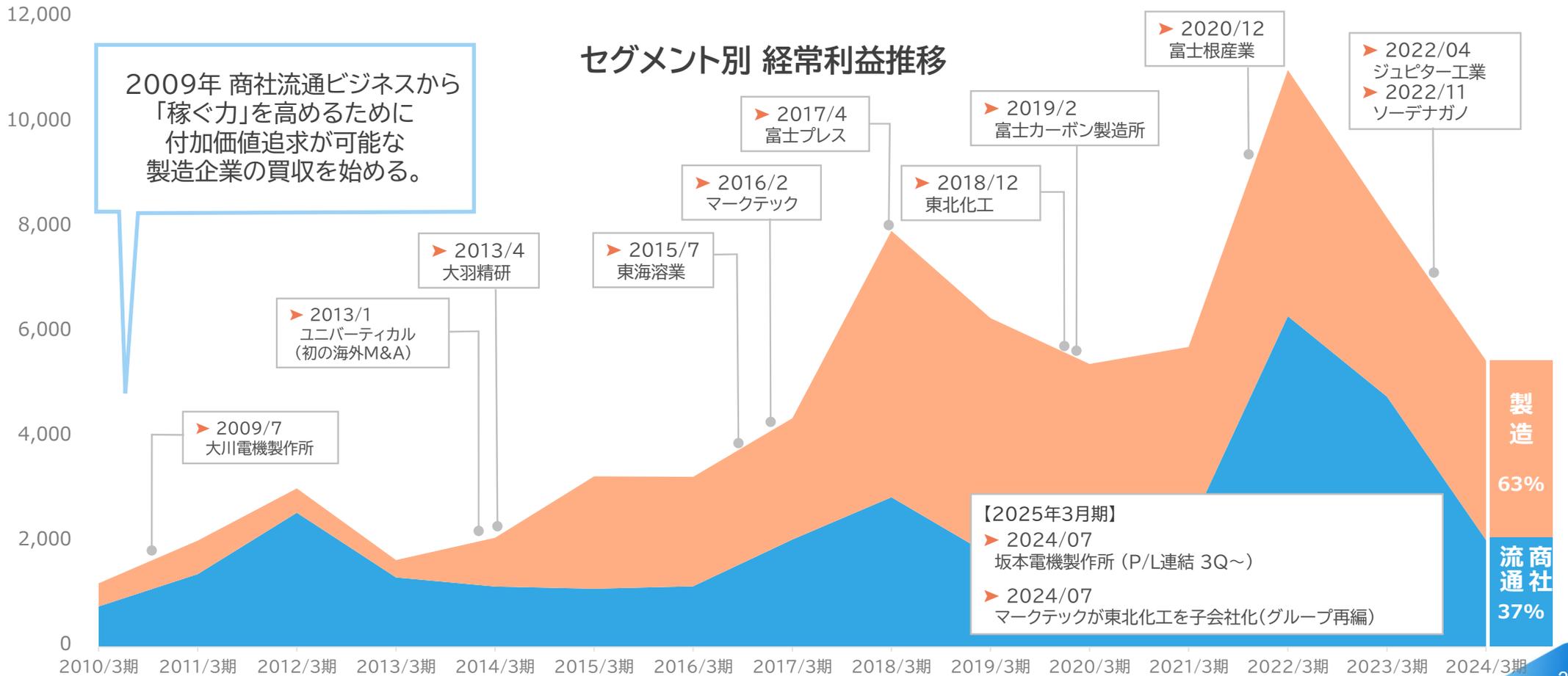
## 補完型 M&A

### ② 金属加工バリューチェーンにおける地理的な分散(水平型)



# M&Aにより製造セグメントが第2の柱に成長

非鉄金属取引主体の祖業 商社流通ビジネスを軸に「稼ぐ力」を高めるため  
業容拡大と付加価値追求を目的として製造会社を次々に買収。第2の事業の柱として築く



## CVC（コーポレートベンチャーキャピタル）



従来のM&Aに加え、2021年8月CVCを設立。

アーリー・ミドルステージを中心に素材・モノづくり分野の有望ベンチャー企業へ投資

### 当社CVCの特徴

商社機能と製造機能の両面からのハンズオン支援  
販売・調達、開発・製造・実証など幅広い分野で事業育成を支援



### 投資先 事業領域

#### | 素材(Material)

半導体、電子材料、車載関連を中心とした新素材

・カーボンナノチューブ    ・発泡金属    ・電池材料    ・磁性材料

#### | モノづくり(Manufacturing)

新たなイノベーションをもたらす製造・検査技術や資源循環型社会に貢献するリサイクル技術

・AI/ロボティクス    ・マテリアル インフォマティクス    ・自動外観検査装置    ・自動搬送ロボット  
・金属リサイクル    ・3Dプリンター    ・水素発生装置    ・ドローン

### 投資実績

運用資産 3,000百万円

投資実績 8件(2024年3月末現在)

 Novel Crystal Technology, Inc.

**LINKWIZ**  
Robotics & Partners



**Gaianixx**

## シェアードリサーチ社によるアナリストレポート

中立性客観性を重視し、第三者視点での調査、分析に基づいて作成されたシェアードリサーチ社のアナリストレポートを公開しています。事業構造や競争環境、優位性等の網羅的な内容となっており、投資家の皆様に当社へのご理解を深めていただき、投資判断のご参考としていただけますと幸いです。

### [アルコニックス株式会社 | Shared Research](#)

#### 【DISCLAIMER】

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることをご承知おきください。

## IRに関するお問合せ先

アルコニックス株式会社 IR広報部

[ir@alconix.com](mailto:ir@alconix.com)